

COPD に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. COPD は慢性気管支炎や気管支喘息，肺気腫の総称で，有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患である。
2. COPD の特徴的な症状は，歩行時や階段昇降時に息切れを感じる労作時呼吸困難や慢性の咳や痰である。
3. 肺胞が破壊されて，肺気腫という状態になると，肺が膨らもうとする力が減少して，息を吐くのは容易だが息を吸うことが困難になり，酸素の取り込み機能が低下する。
4. 肺機能検査（スパイロメトリー）で，「1 秒率」が 50 % あれば，COPD の可能性は低い。
5. 喫煙者における COPD の発症率はおよそ 50 % である。COPD 患者が禁煙すると，「1 秒量」が改善する。